

かれんと

No. 37
2010. 9. 24

Current: カレント
時代の流れあるいは
新しい潮流

『イクメン』パパ (育) (男)

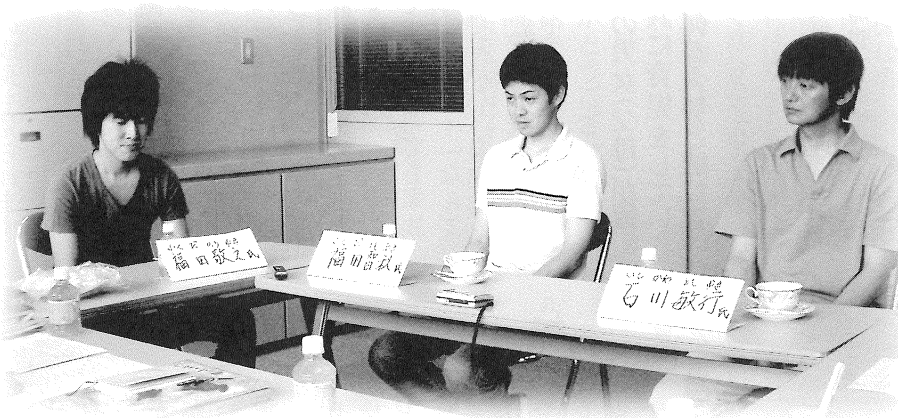
～ただ今、子育て奮闘中!～

子育ては、パパとママの共同責任です。

仕事と家庭を両立させていく為には、社会の支援も必要ですが、
まだその対応は充分とは言えません。

最近では、育児に積極的に参加する男性のことを「イクメン」と
呼んでいます。女性の多くは、婚活の条件のひとつとしてこのよ
うな男性を求めているようです。

今回は、仕事を工夫し、楽しみながら子育てを実践している
「イクメン」パパ三人に、日ごろの生活振りを伺いました。



主な内容

- ・イクメンパパ対談
ただ今子育て奮闘中
- ・行政から
地域セッション
意識調査について
- ・お気に入りbook
- ・ひとくちメモ
- ・編集後記

座談会出席者 (50音順) 尚、本文中敬称は略しました。

石川 敏行さん (37歳) 会社員 子ども 3人
福田 智秋さん (27歳) 会社員 子ども 2ヶ月
福田 敬之さん (26歳) 会社員 子ども 2歳

* 「かれんと」は、ボランティア
編集員が担当し、作成しています。

1. 子どもが生まれた時どんな感動を覚えましたか？



石

川：私の場合は子どもが3人い

まして、生まれたばかりの子を初めて抱っこした時に父親の自覚が出てきました。

2番目の子の時には出産にも立ち会いました。病院の先生から「絶対立ち会ったほうが良い。」と言われた

ので。最初は嫌でしたが、妻の強さを目の当たりにし産んでくれてありがとうと思えました。

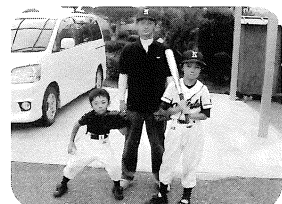
福田(智)

と声をかけて感謝しました。側から選択できると聞いて希望しました。

まだ子どもが2ヶ月なのでこれからたくさん色々な感動があるのでしょうか、今は子どもと妻と並んで寝ている時とくに、幸せを感じますね。

福田(敬)

やはり病院側からアンケートを渡され、立ち会いをするかしないのか聞かれたのですが、妻も希望していたので立ち会いましたが、



2. 育児に関わってどんな変化がありましたか？

立ち会って良かったです。今後、親としての経済的なことも考えました。

石

川：最初の子の時はそれほど育児に協力的ではなかったです。



仕事が忙しく、なかなか子どもに会えなくて、「パパ、一週間ぶり。」と言われ、これはいかんなど思いました。会社側も理解があつて、ノー残業デーがありますので、徐々に育児参加をするようになりました。夏だと家に帰ってもまだ明るいので一緒に野球をしたりして

福田(智)

やはり子どもが増え、家族が増えると責任も出て仕事にもハリが出てきました。僕はまだまだ仕事中心か

子どもが生まれて稼がなきゃ！と思いますし、妻もそれを理解してくれそうです。けれど、子どもが生まれる前からお風呂洗いとごみ捨てはやっていました。生まれてからは、おしめ替えとミルクもやっていきます。

仕事が休みの日は自分が見る！と決めています。

福田(敬)

子どもの成長も見られますから。自分を妻が妊娠を機に仕事を辞めてしまったので、自分が働かないと！という気持ちがあるので今は仕事中心の生活です。

石

川：仕事で疲れて帰っても家族に「パパお帰り！」なんて言われると疲れも吹っ飛びますよね。

石

川：これからの男女(父母)が協力して共に育児をしていく上で、何が大切と感じますか。

石

川：やはりお互い思っている事を夫婦間でよく話すことでしょうか。

子どもが「パパとママとで言ってることがちがう。」と思ってしまうと混乱します。教育面で食い違う事が多いですが、大事なところでもある訳ですから、家庭の中、夫婦間でも「ホウ(報告)レン(連絡)ソウ(相談)」です。

うちは一番上がもう大人と見ても良い歳ですから、ある程度本人の意見も尊重

し、距離を置く事もありました。子どもとの接し方も、子どもの目線に立って考えながら、夫婦が協力し合う事が大事ですね。

福田(智)

お互いの立場に立つという事です。

うちはまだ子どもが2ヶ月なので、妻の方がおしめ替えやミルクの飲ませ方などの扱い方もよく知っていますから、そこは従います。自分も、子どもが生まれて友人とのつき合いは減ったわけですが、妻よりストレスはないと思うので、出来る限り妻に協力したいですね。



福田(敬)

自分は男3人兄弟で育ち、妻は女系家族。今までの環境や自分達の親の育て方がまず違うのだから、もめる事が多かったです。



4. 育児休業法についてのよ うな考えをお持ちですか？

ただどやっぱり子どもに親のケンカは見せたくないですから、妻とお互いを理解する努力をしています。子供を囲んでたくさん遊ぶようにしています。そうするとコミュニケーションもたくさん持てますね。

福田(敏)：育児休業法は知っています

界が違つるように感じましたが、私が我が社の第一号になつても良いかな？
が、妻が専業主婦なので、それ程必要と感ずしていません。半年に一度、有給休暇も取っていますしね。子どもの誕生日には必ず休んでいるんですよ。

石川：会社側から休業法についての説明はありました。でも正直、同僚とは「休めないよね。」と話しています。

女性はどう取っていますが、やはり男性は難しいですね。給料も満額はもらえない訳ですから。それに、妻が専業主婦なので、ただ、有給休暇は有効に使わせてもらっています。子どもの夏休みや冬休みの平日にあてたり、幼稚園などの行事に充てたりはしてません。

福田(智)：私も会社側から説明を受けましたので会社も理解はあると思います。ただ、今は土日もないほど忙しいのが現状で、やはり取りづらいです。

ニュースで東京の区長さんが有休を取ったという話を聞いたとき、自分とは世



石

川：数年前では、休まないことが誇りでした。

私が有給休暇をどんどん取るきっかけになったのは子どもの幼稚園で役員をやるようになったからです。



もし身近に有休を取っている人がいたら「僕も取りたい。」と思うのかも。これから二人目が生まれる時には妻からも「取つて。」と言われると思います。その子もいる訳です。そうしたら、自分も会社の第一号になつても良いですね。



★どうもありがとございました。貴重なお話を伺えて私たちも有意義な時間を持つことができました。これからも素敵なパパ、旦那さままでいて下さい。

総評

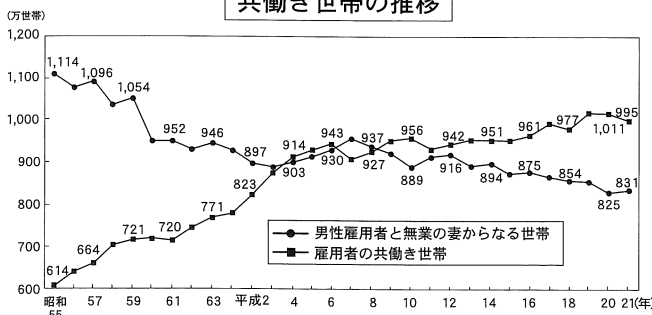
景気悪化の影響を受け、特に若い世帯の収入は伸び悩んでいる現在、共働き世帯が年々増加しています。

今年度から、子ども手当や高校授業料の無償化等の経済的支援が行われていますが、子育てに関する支援はまだ充分とは言えません。

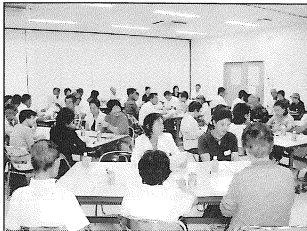
はじめは面倒くさいなと思いましたが、平日に餅つき大会・豆まき等を通して子ども達と接するようになって楽しくなってきました。学校や幼稚園、保育園の役員を積極的にやってください。そうすれば休まなければいけなくなる場面がきます。その時に会社に育児のアピールをすれば取りやすくなりますよ。

このような中、三人の「イクメン」パパに話を伺い感じたことは、積極的に子育てを楽しみ、家族に対して強い責任感を持っているということです。しかし、それでも子育ての大半は女性の手に委ねられています。また、地域性もあり親の手も借りやすいという面で恵まれていると思います。

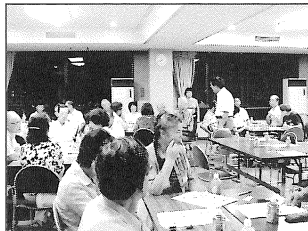
共働き世帯の推移



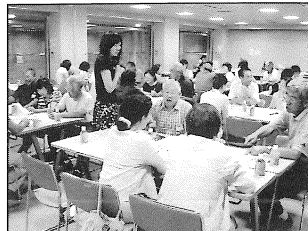
資料：総務省「労働力調査」より作成



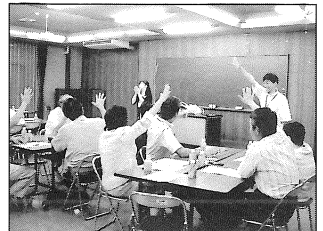
8月24日 北押原地区



8月20日 中央地区



8月21日 北部地区



7月15日 北犬飼地区

地域セッション

開催される

地域セッションは、今年で3年目を迎え、22年度、北犬飼地区・中央地区・北部地区・北押原地区・東部地区の順に開催し、これで鹿沼市全域を終えることになりました。

最初は5年で一巡する予定でしたが、まだまだ、性別役割分担意識があるなどの課題が多く存在していることや、地域による差も歴然としており、地域セッションの果たす役割は大きいと感じ、予定を変更して早めに一巡し、2回目を開催していくことを男女共同参画社会づくり実行委員会で決定したところです。

今後とも、各地区自治会協議会のご協力をいただき、地域セッションを開催し、男女共同参画社会の実現をめざしてまいりますと考えておりますので、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

*セッションとは
地域における「学習会」を意味するフランス語です。

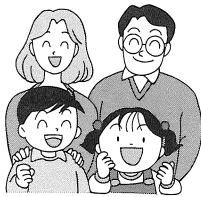
「男女共同参画社会に関する意識調査について」

ご協力ありがとうございました。

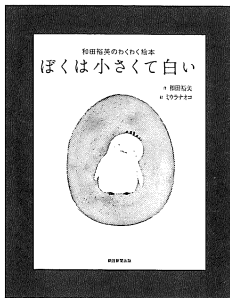
かぬま男女共同参画プラン第4期計画が平成23年度で終了し、平成24年度からの新プランを策定するにあたり、その見直しに向けての意識調査を8月に実施しましたところ、多くの市民の皆様にご協力いただきまして誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

このかぬま男女共同参画プランは、鹿沼市男女共同参画推進条例に示された理念に基づき、市民・事業者・市が協力し「一人ひとりがいきいきと暮らせる男女共同参画社会」の実現をめざして策定するものです。

この計画期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間としており、今後1年半をかけて整備してまいります。



お気に入り Book



「ぼくは小さくて白い」

著者 和田裕美
発行所 朝日新聞出版

★コンプレックスを個性に変える事を教えてくれ、子育てを前向きに、かつ勇気が持てるようになる絵本です。

・新メンバーになり、知恵とエネルギーをもらい楽しくやっています。(とんとん)

・(はむちゃん)

・今年四月から編集委員になりました。不安がありましたが出来上がってうれい！これから五人の編集委員の仲間とがんばります。

・(愛)

・良き出会い、ご縁に感謝。日々、学習。

・初め情報紙の編集に携わらせていただいたて、知らない事が沢山ありました。反省と感動の日々。日本の父達、バンザイ！

・(ハクナマタタ)

・初めて編集委員として活動させてもらい、色々勉強させていただきありがとうございます。(福ちゃん)

編集後記



ひとくちメモ



改正育児休業法

- 平成二十二年六月三十日に施行され、大きな柱は父親も取りやすくすることです。主な内容は、
- ① 育児時期・・・夫婦ともに取得する場合は、夫と妻それぞれ一年を上限に、一歳二ヶ月まで延長
 - ② 育児回数・・・父親の一回目の育児が誕生後八週間の産後休暇中だった場合には、特別な理由がなくても、二回目を取ることができる。
 - ③ 育児休業・・・今年四月以降に育児に入る人からは、休業中にまとめて五割が支給される。

